

7) 夏秋期のケーキ用イチゴ「道南29号」

(いちご新品種候補「道南29号」)

北海道立 花・野菜技術センター 研究部 野菜科

北海道立道南農業試験場 研究部 作物科

1. はじめに

いちごの夏秋どり栽培は高単価が期待できる。北海道は府県に比較して夏季の気象条件が適することと、作業負担の少ない高設栽培の普及と相まって、今後とも栽培面積の増加が期待できる。一方、夏秋どりの優良品種「エッチェス-138」は土耕栽培では多収性を発揮するが、高設栽培では障害果（種子浮き果）の発生が問題となっており、高設栽培において高品質多収な品種が求められている。

2. 育成経過

「道南29号」は、平成13年に道南農試において、大果で果実外観、食味に優れる「7交15-57」（道南農試育成系統）を種子親とし、四季なり性を有し、果実が硬い「エッチェス-138」（北海三共（株）育成、平成13年優良品種）を花粉親として交配、育成した。平成17年から「道南29号」の系統名を付し、各種試験に供試してきた。

3. 特性の概要

1) 形態的特性 収穫始期の草丈はやや低く、葉数および芽数はやや少ない。草姿は中間性である。草勢は高設栽培ではやや強く、果房当たり果数はやや少ない。

2) 生態的特性 四季成り性を有する。収穫始期からみた早晚性は、ほぼ同等である。高設栽培における規格内収量は「エッチェス-138」より多い。高設栽培における種子浮き果の発生率は「エッチェス-138」より低い。うどんこ病抵抗性は「エッチェス-138」よりやや弱く、特に秋期に着果数が多く、成り疲れすると病果が多くなる。灰色かび病果の発生程度は同程度である。萎黄病抵抗性は弱く、萎凋病にはほぼ同程度、疫病にはやや強い。

3) 果実品質 果形はやや長円錐形である。

果皮色、光沢は「エッチェス-138」と同等である。果肉色は「エッチェス-138」よりやや淡く、「白～鮮紅色」である。糖度は「エッチェス-138」よりやや低いが、酸度が低いため、糖酸比はやや高く、食味はやや良い。果実中心空洞は「エッチェス-138」よりやや大きいものの、硬さは優り、日持ち性は供試品種の中で最も優れていることから、菓子材料等の業務利用が可能である。

4) 実需者評価 仲卸、大都市の洋菓子協会および大手製パン会社の評価では「エッチェス-138」と比べて、同等からやや優る評価であった。

4. 普及態度

「道南29号」は高設・夏秋どり栽培において「エッチェス-138」よりも多収で、種子浮き果など障害果の発生は少ない。また、果実の糖酸比は高く、果実硬度が高く、日持ち性に優れていることから業務用に適する。高設栽培では高品質・多収が得られることから、高設栽培を中心に既存品種の一部と置き換え、夏秋どりいちご栽培の生産振興に寄与できる。

1) 普及見込み地帯

全道一円、普及見込み面積10ha

2) 栽培上の留意点

(1) ハウス雨よけ夏秋どり作型に適応する。

(2) 土耕栽培でも利用可能であるが、萎黄病に対する抵抗性が劣るので、耕種的防除や土壌消毒に努める。

(3) 秋期に着果過多による成り疲れで草勢が低下すると、うどんこ病果が発生しやすくなるので、芽数および果房数調整を適切に行う。

(4) 液肥のEC値は「エッチェス-138」慣行の0.4 mS/cmで試験したが、「きみのひとみ」栽培並の0.8mS/cmにすることで、さらに収量および品質の向上が期待できる。

表1 育成地における主要成績1 (2004～2006年、道南農試、高設栽培)

品種系統名	収穫 始期 (月日)	収穫始期の					収穫期 の草勢	果房当たり 収穫果数 (果/果房)	病果率(果重%)	
		草丈 (cm)	葉数 (枚/株)	芽数	果房 数	草姿			うどんこ病	灰色か び病
道南29号	7.17	20.9	16.0	1.6	4.2	中	や強	14.1	1.4	1.2
エッチェス-138	7.16	22.2	19.7	2.2	5.0	や開	中	17.3	0.8	1.4
カレイニャ	7.17	28.1	17.6	2.2	4.0	や立	や強	15.8	0.4	0.7
ペチカ	7.19	26.0	16.1	2.2	4.1	や立	や強	12.8	0.1	0.5
きみのひとみ	7.18	23.6	14.7	1.9	3.7	や立	中	8.3	0.1	2.0
エラン	—	30.5	23.9	3.0	5.3	や立	強	10.5	0.2	1.0

注)「エッチェス-138」は標準品種、「カレイニャ」以下は参考品種。「エラン」のみ2004～2005年。

表2 育成地における主要成績2 (2004～2006年、道南農試、高設栽培)

品種系統名	上物収量		上物 一果重 (g)	上物 果率 (%)	種子浮 き果率 (%)	果形	果皮色	果肉色	糖度 (Brix%)	糖酸 比	果皮 硬度 (g/φ3mm)	日持 ち性 (日)
	重量 (kg/a)	同左比 (%)										
道南29号	206	115	10.7	54.2	7.1	ヤ長円錐	鮮赤	白～鮮紅	8.9	12.9	156	7.5
エッチェス-138	179	100	10.1	48.0	10.1	円錐	鮮赤	白～鮮赤	9.1	12.1	152	6.1
カレイニャ	46	83	10.8	46.0	8.8	円錐	鮮赤	白～鮮紅	9.7	17.1	123	6.0
ペチカ	44	80	11.2	45.1	12.2	ヤ長円錐	鮮赤	白～鮮赤	9.8	17.5	123	5.8
きみのひとみ	208	116	11.4	57.2	7.0	ヤ短円錐	鮮紅	白～鮮紅	9.3	17.8	97	4.4
エラン	92	44	10.3	23.4	33.3	卵円錐	鮮赤	鮮赤	9.4	15.6	124	4.8

注) 上物：規格内果のうち、7g/果以上で障害果を含まない果実。「エラン」のみ2004～2005年。

表3 各種病害に対する抵抗性

品種系統名	接種検定の発病度		
	萎黄病	萎凋病	疫病
道南29号	88.8	92.5	15.3
エッチェス-138	65.0	82.5	26.4
きたえくぼ	70.0	96.3	—

注) 平成18年調査。発病度＝ Σ 発病指数 $\times 100/(4 \times$ 供試個体数 $)$

表4 実需者による「道南29号」の評価

実需者(回答者数)	調査日	総合評価
仲卸業者A(1)	8月31日	4.0
仲卸業者A(2)	10月19日	4.0
大手製パン会社(1)	10月24日	3.0
札幌洋菓子協会(14)	10月18日	4.0
函館洋菓子協会(3)	8月27日	4.3
函館洋菓子協会(7)	10月26日	2.9

注) 平成18年、道南農試産果実供試。果実を生食し、標準品種「エッチェス-138」と比較。総合評価：5(良)-3(並)-1(不良)